

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

貯 法：密封容器、室温保存
使用期限：3年
(外箱・容器に表示の使用期限内に使用すること)

注 意：取扱い上の注意の項参照

五炭糖・糖質補給剤

日本薬局方 キシリトール注射液

キシリトール注MP5%

XYLITOL INJ. MP5%

承認番号	21100AMZ00271
薬価収載	1999年7月
販売開始	1999年7月

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

低張性脱水症の患者〔本症はナトリウムの欠乏により血清の浸透圧が低張になることによって起こる。このような患者に本剤を投与すると、水分量を増加させることになり、症状が悪化するおそれがある。〕

【組成・性状】

1. 組成

容 量		500mL
成分・含量 (1瓶中)	日局 キシリトール	25g

2. 製剤の性状

性 状	無色澄明の液で、味は甘い。
pH	4.5～7.5
浸透圧比	約1(生理食塩液に対する比)

【効能・効果】

糖尿病及び糖尿病状態時の水・エネルギー補給

【用法・用量】

キシリトールとして、通常、成人1日2～50gを1～数回に分けて静脈内注射または点滴静注する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、キシリトールとして1日量100gまでとする。

点滴静注する場合、その速度はキシリトールとして、0.3g/kg/hr以下とすること。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)尿崩症の患者〔本症には適切な水分、電解質管理が必要であり、本剤の投与により電解質等に影響を与え、症状が悪化するおそれがある。〕
- (2)肝障害、腎障害のある患者〔キシリトールの大量を急速投与すると肝障害、腎障害があらわれるおそれがある。〕

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

大量・急速投与：キシリトールの大量を急速投与すると、電解質喪失を起こすことがある。また、肝障害、腎障害があらわれることがある。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

4. 適用上の注意

(1)投与経路：静脈内に投与すること。皮下大量投与により、血漿中から電解質が移動して循環不全を招くおそれがあるので、皮下投与しないこと。

(2)投 与 前：

- 1) 投与に際しては、感染に対する配慮をすること。(患者の皮膚や器具消毒)
- 2) 寒冷期には体温程度に温めて使用すること。
- 3) 開封後は直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

(3)投 与 時：ゆっくり静脈内に投与すること。(【用法・用量】の項参照)

(4)投 与 後：高濃度液投与の急激な中止により、低血糖を起こすおそれがある。

5. その他

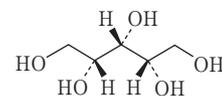
キシリトールの大量を急速に静注した場合、諸臓器、特に腎、脳にシュウ酸カルシウムの沈着が認められたとの報告がある¹⁾。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：〔日局〕キシリトール(Xylitol)

化学名：*meso*-Xylitol

構造式：



分子式：C₅H₁₂O₅

分子量：152.15

融 点：93.0～95.0℃

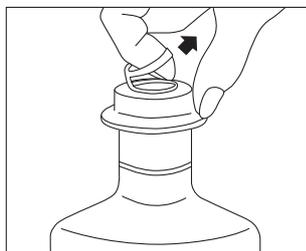
性 状：白色の結晶または粉末で、においはなく、味は甘い。

本品は水に極めて溶けやすく、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

本品は吸湿性である。

【取扱い上の注意】

1. 連結管による混合投与の場合は、Y字管連結にして使用すること。
2. 開栓時の注意：
 - (1) プルオフリングの支柱部が向こう側になるようにボトルを保持する。
 - (2) プルオフリングの上から人差し指を入れ、リングに指をかける。



- (3) 親指で支え、手前方向へ約45度にゆっくり引くと開栓できる。
3. 包装内に水滴が認められるものや内容液が着色または混濁しているものは使用しないこと。
4. 混注の際は注射針をゴム栓の○印にまっすぐ刺すこと。
5. 容器の目盛はおよその目安として使用すること。

【包装】

500mL：20瓶（プラスチックボトル）

*プラスチックボトルはポリプロピレン製容器である。

【主要文献】

- 1) Schröder R., et al.: Morphologische Veränderungen nach parenteraler Ernährung mit Xylit, Schriftenreihe Intensivmedizin, Notfallmedizin, Anästhesiologie, 14: 15-19, 1979

※※【文献請求先】

ファイザー株式会社 製品情報センター
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
学術情報ダイヤル 0120-664-467
FAX 03-3379-3053



※製造販売元
マイラン製薬株式会社
大阪市中央区本町2丁目6番8号
※販売
ファイザー株式会社
東京都渋谷区代々木3-22-7

